

## ◆ 19回総会・心・新たに！



ツツジ咲く快晴の4月27日は、第19回定例総会が千鳥苑で開催されました。

今回は「平成」最後の総会でしたが、例年より少ない15名の参加となりました。

高齢化が進み会の存続に厳しさはありますが、参加の皆さんは、次の「令和」の年に、新たな心構えで取り組みます。

次世代につなぐ「森づくり」、街角に花を飾る「園芸福祉」に手抜かりのない準備をして、運営していく体制が整いました。

今年度も、明るく楽しい会の幕開けの機会となりました。

## ◆ “平成”最後の定例日作業

4月30日は、平成最後の“はなちどり”作業となり11名が集まりました。

屋外畑組は、会員から提供されたトマト、キュウリの苗を植え付け、ハツキソウを移植し、シャクヤクの周りの雑草を取りました。ハウス内組は、マツバボタン苗を植え付け、アスターなどの鉢上げを完了。

作業後のお茶会は、日ごろになく、冗談のオンパレードで、ついつい時間オーバー状態となる賑やかな場になりました。

午後は、ヒマワリ、ケイトウなどの残り種を播きつけました。



## ◆ “市民の森”の除伐

風薫る5月10日、令和初の“森づくりの日”は、6名の会員が集まり、“市民の森”の除伐に努めました。

市民の森の植林地は、折々に手入れしていますが、除伐の必要な区域は広く、この日は密植域を優先して、枯木整理と、除伐に取り組んだものです。皆さんは、枯木を倒し、樹種を見極めながら除伐木を倒し、林内を整理しました。成長した樹木を鋸で伐るのは結構厳しく、汗を流しながらの作業でした。

後日、有志会員2名でも除伐作業をしました。



## ◆ 若返る二つの花壇！

五月晴れの5月7日は、13名の会員が“はなちどり”に集まりました。この日は、図書館前花壇とJR古賀駅前花壇の古くなった花を取り去り、マリーゴールド、ペチュニアを植え付け、花壇の若返りを図りました。花壇は、再び色鮮やかになることが期待されます。

なお、先日の総会で青崎会員が園芸福祉の幹事を勇退され、大家会員が引き継ぐことが紹介されました。青崎会員は、副の立場で活動されます。会員は、青崎会員の永年の活動に感謝しています。



## ◆ ハウスの寒冷紗“市”が補修！

昨年あたりから、“はなちどり”ハウスの寒冷紗の劣化が進んで破れだし、市に相談を持ちかけていましたが、なかなか結論が出ず、会としては、夏場をしのぐのは難しいと会の資金で補修をするを検討していました。その矢先、5月9日に古賀市福祉課と打ち合わせがあり、市として「補修する」との回答がありました。

同時に、“はなちどり”ハウスの使用については、今後、年度初めに「使用許可申請」を提出するように指示がありました。



## ◆ 福祉会で「ミニ盆栽」楽しむ！



5月20日は、庄北区公民館に、庄北区福祉会の22名の方々に、ミニ盆栽づくりの体験講座に出向きました。

素材は、カエデ、ヤブコウジ、リュウノヒゲ、コケ、エコ皿を準備しました。講師は青崎会員が務め、サポーターとして10名の会員が参加。福祉会の皆さんは着々とミニ盆栽を作り上げ、出来上がった作品を見ながら、「楽しかった～」の言葉も出ていました。

最後に青崎会員は、ミニ盆栽資料を全員に配り、管理の仕方を丁寧に説明していました。出来上がった作品を前に、全員で写真を撮って締めくくりました。

## ◆ 早くも 水やり始まる！



今年の4月以降、降雨量が少なく、各花壇の花々は水不足傾向となり、一部の花は枯れる現象が発生していました。

花枯れ防止対策として、一部の会員で水やりをしていましたが、断片的な水やりでは対応できないと判断し、5月12日から当番を決めて、1週間の交代制を取ることにしました。

昨年の夏も厳しい酷暑が続き、当番制をとって、花壇を守りました。花が生き物である以上、植えたら管理することは、会の役割と受け止めて、会員一同で、支え合って花壇を守っています。

## ◆ 「飛入り草刈」に感謝！

令和元年5月2日の空は晴れ、ソメイヨシノザクラなどを植えている桜園に、外来種のエゾノギシギシが繁殖したので、宿根性の根切り駆除をしました。

次々に繁茂するので三度目の駆除をしていると、散歩中のご婦人が飛び入り参加で、桜の木の下草を素手で次々に取り続けられ、通路側の草がなくなり、スッキリとなりました。

その数日後、桜園全体の草が刈られていたので、「誰が？」と不思議に思っていると、散歩中の男性から声を掛けられ、「女性が数日間、草刈りされてましたよ」と教えられました。この方に感謝々々です。



### 四方山話

#### 昭和から平成そして令和へ

令和へと代替わりして、昭和がますます遠くなりました。

私の子どもの頃、「すごいなあ、あの大人たちは。明治・大正・昭和と三つの時代を生きてきたんだ」と思っていた人たちの多くはまだ現役だったのに、自分がその立場になった今は、既に後期高齢者です。その長い年月を私はどの様に生き、今ここに居るのか…。

昭和は、京都市内で子ども時代を過ごし、結婚するために古賀へ来て4人の子どもを産み育て、夫を見送る、という人生の大半の激動を体験。平成で緑の会と出会い、子ども達もそれぞれに独立しての自由な独り暮らし。そして、この令和の内に、私はほぼ確実に人生の幕を閉じるでしょう。

死は生の最後の到達点、死に様は生き様の総決算です。100%避けられないその日を常に視野に入れながら、したいことの仕残しがないように、そして悔いの少ない自分らしい生き方を貫き、穏やかに最終日を迎えたいものです。

改元という時代の節目に際し、改めて自分の来し方・行く末を俯瞰しての感慨でした。

納 富 育 代

通信発行連絡先；宿理 092-944-5924

“緑のまちづくりの会” HP アドレス ⇒ <http://www.koga-midori.com/>